

令和5年度

川崎市立登戸小学校
学校報告書



学校教育目標

よく考える子 思いやりのある子 最後までやりぬく子 健康でたくましい子



令和6年2月

ご報告にあたって

校長 田中 克義

令和5年度も残り1カ月余りとなり、それぞれの学年の児童が学習のまとめや進級、進学に向けた準備をすすめているところではあります。

さて、今年度は令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」になったことから、運動会、校外学習、授業参観等を予定通り実施することができました。また、明治6年6月5日の開校から150年目を迎え、保護者、地域の皆様のご理解とご協力のもと、創立150周年式典を開催することができました。こうした学校行事や普段の学校生活の中で、児童が互いの考えや思いを交わし合いながら学習する様子や、異学年の児童が協力して児童会活動に取り組む様子などが見られ、学校全体が活気ある1年であったように感じます。本校の教職員も児童の健やかな成長をめざした教育活動を展開して参りました。保護者の皆様には学校行事や授業参観などを通してお子様の成長した姿をご覧になり、温かい励ましの言葉をかけていただいたことと思います。

今回も、今年度の取組を振り返るために保護者の皆様に学校評価アンケートにご協力をいただきました。学校報告会では、このアンケートの結果をもとに今年度の教育活動を振り返り、成果や課題について保護者の皆様にお伝えします。学校報告会にお越しいただけなかった皆様も、この報告書に目を通していただき今後の登戸小学校の教育活動にさらにご理解、ご協力をいただければ幸いです。

目次・・・・・・・・・・・・・・・・

I 本年度の教育活動について p. 1

(1) 本年度の学校経営

(2) 主な取り組み

II 学校評価について p. 9

アンケート調査による考察と課題

III 来年度に向けて p. 12

・・・・・・・・・・・・・・・・

1 本年度の教育活動方針

(1) 本年度の学校経営

1 登戸小学校 学校教育目標

よく考える子

思いやりのある子

健康でたくましい子

最後までやりぬく子

2 学校運営の3つの重点と具体的な取組

1

《自ら学ぶ力》

自主

主体的に考える子ども

授業の充実

2

《人間関係形成力》

協働

共に支え合う子ども

心の教育の充実

3

《自立的活動力》

自立

自分から行動する子ども

実践的活動の充実

1 自主 主体的に考える子どもを育てます。

■そのために、基礎・基本を重視した授業を行い、基本的な学習態度の定着を図ります。また、子ども達どうして対話する授業を大切にします。その中で教師は子どもの学びを支援、指導する役割で関わるようにしていきます。

①子ども達が気づいた事や考えた事を互いに「聴く」、「話す」活動を中心に自分から考えようとする協同的な授業を行います。

②子ども達が見通しをもって学習を始められるようにします。

③子ども達が注目できる資料等の焦点化と子ども達の気づきや意見を分かりやすく板書をしながらか「わかる」授業を進めます。

④「学びの中心は登戸の子ども達」を基本にしながらか全教職員で研究を進めていきます。

2 協働 共に支え合う子どもを育てます。

■そのために、学校の約束をしっかりと守る指導を行い、基本的な生活習慣の定着を図ります。また、一人ひとりを大切にする取組を進めます。

①支援教育コーディネーターを中心にした全教職員によるネットワーク型の子どもの支援を行います。

②養護教諭との連携、スクールカウンセラーや外部機関との連携を通して、教職員が共通理解の上で共同歩調での支援を行います。

③子どもの人権を大切にした取組を行います。

・人権尊重月間の取組

・いじめ防止の標語

・情報モラル教育の推進

・教員の人権意識の更なる醸成

④共生*共育プログラムの活用などを通して、友達のよさと自分のよさに気づく支援を行います。

⑤子どもの日々の様子をよく見て、よい言動を価値づけほめることを行います。

3 創造 自分から気づいて考え行動する子どもを育てます。

■そのために、自分で気づいて行動できたことを褒める支援を行います。

①子ども達が自分から考え、行動できる場を学年に応じて意図的、計画的につくりだしていくようにします。

②代表委員会、各委員会、クラブ、学年行事(自然教室等)学校行事(運動会等)、150周年行事などの教育活動に、積極的に「子どもの主体的な活動」を取り入れていきます。

○地域と共に歩む教育

①学校教育推進議会や町会、地域住民、保護者と連携した教育活動、登下校の安全についての指導を推進します。

②地域学習を充実し、地域を大切にする心を育みます。

○ あいさつが行き交う明るい学校づくりを目指します。

○ 食育、給食指導、健康教育・防災、防犯教育を充実させ、子ども達の健康や安全についての意識を高めます。

○ 学習道具の一つとしてGIGA端末の活用を推進します。

○ 読書を通して豊かな心や言語力を育むために、学校司書と連携して図書室の環境整備や朝読書などを行います。

○ 学習の成果が見られるように、計画的に作品掲示を行います。

○ 150周年行事にむけて、「今月の歌」や歌唱指導を通して、子ども達の表現力を高めます。

○ 学習の成果が見られるように、計画的に作品掲示を行います。

(2) 主な取り組み

この1年間をふりかえって

4月		着任式 前期始業式 入学式 交通安全教室(1年) 1年生を迎える会 定期健康診断(～6月) 川崎市学習状況調査(4～6年) 全国学力・学習状況調査(6年) 校外学習【三平梨園】(3年) 家庭訪問 避難訓練
5月		野菜の苗の植え付け(2年) 創立150周年記念運動会 校外学習【生田緑地】(1年) 校外学習【三平梨園】(3年) 校外学習【王禅寺ごみ処理センター】(4年) 交通安全教室(3年) 避難訓練 校内授業研究(5年,6年)
6月	前期	150周年お祝いの会 修学旅行【日光】(6年) 開校記念日(5日) 校外学習【生田緑地】(3年) まちたんけん(2年) 市内めぐり(3年) 第1回学校教育推進会議 土曜参観・防災引き取り訓練 校内授業研究(3年) プール開き
7月		自然教室【川崎市八ヶ岳少年自然の家】(5年) 校外学習【農家見学】(3年) 川崎市立小学校授業研究会(4年) 校内授業研究(1年) 夏季休業(24日～8月24日)
8月		発育計測
9月		校外学習【三平梨園】(3年) 授業参観・懇談会 校内授業研究(5年) 校外学習【スーパーマーケット】(3年) 避難訓練 個人面談
10月		オーケストラ鑑賞教室【ミューザ川崎シンフォニーホール】(5年) 個人面談 除草作業 前期終業式 かわさき家庭と地域の日(10日)
		後期始業式 遠足【生田緑地】(1年) 除草作業 町たんけん(2年) 校外学習【ニヶ領せせらぎ館】(4年) 遠足【よみうりランド】(ひまわり級) 体験学習【消防】(3年) 校内授業研究(4年)
11月	後期	歌唱指導(1,5年) 就学時健康診断 150周年式典保護者鑑賞 150周年式典・祝賀会 遠足【八景島シーパラダイス】(2年) 歌唱指導(4年) 連合音楽会【多摩市民館】(4年) 校内授業研究(2年)
12月		希望者個人面談 防犯訓練 多文化共生授業(3年) 避難訓練 認知症サポーター講座(4年) 柘形中学校交流会(ひまわり級) 中学校体験【柘形中学校】(6年) 校内授業研究(6年) 大掃除 冬季休業(23日～1月8日)
1月		発育測定 校外学習【日本民家園】(3年) 校外学習【箱根】(4年) 書き初め展
2月		入学説明会 薬物乱用防止教室(6年) 卒業と進級を祝う会(ひまわり級) 避難訓練 第2回学校教育推進会議 授業参観・懇談会・学校報告会 生活科体験学習【のらぼう菜】(2年) 歌唱指導(5,6年) お別れコンサート(スクールバンド)
3月 (予定)		6年生を送る会 歌唱指導(5,6年) 都内見学【国会議事堂】(6年) 大掃除 お別れ式 卒業式 修了式 離任式

1年生 やってみよう！ ～しっばいも せいこうも たからもの～

〈学年目標〉

- 自分の思いを表現し、進んで学習する子
- 友達に優しい気持ちでかかわろうとする子
- あいさつや返事をし、元気に活動する子
- 失敗を気にせず挑戦し、粘り強くがんばる子



幼保小交流会



日常生活を含め様々な体験活動を通して、自分で考えて行動できる子を目指してきました。「しっばいをしてもらってそれがべんきょう！だからまずはやってみよう」という気持ちで学校生活に慣れることや見通しをもって学習をすることで、自信をつけ行動することができるようになってきました。また、友達と一緒に生活する中で互いに助け合い、思いやりの気持ちをもつことの大切さを学んできた子ども達です。

2年生 笑顔でチャレンジ レッツゴー！

〈学年目標〉

- 話をよく聞き、自分の思いや考えを表現する子
- 友達と協力する子
- 失敗を恐れず、前向きにチャレンジする子
- 粘り強く頑張る子



自分の思いを素直な自分の言葉で表現することを大切にしてきました。まち探検や野菜の栽培学習、遠足に生活科のおもちゃ作りの学習と、様々な活動を通して、失敗してもその失敗から考えたり、生かしたりしながら、チャレンジし続けました。また、自分や友達の思い・考えを言葉で伝え合う時間を学習に意識的にとり、大切にしてきました。

3年生 気付き・表現・認め合い

〈学年目標〉

- 話をよく聞き、自分で考え表現する子
- 友達のことを考え、進んで協力する子
- 明るく元気に励ましあえる子
- 最後まであきらめずにやり抜く子



市内めぐり



消防体験



梨体験



民家園

社会科・理科・総合的な学習の時間の学習が始まりました。校外学習を設定し、地域の方々や施設と関わりながら学習を進めてきました。その中で、課題を見つけたり考えを比べたりしながら、自分で考えて表現する機会をもてるようにしました。また、グループでの活動を取り入れ、協力する大切さも実感していました。

4年生 自分のよさを生かして挑戦しよう

〈学年目標〉

- 自分で考え、行動する子
- 友達と協力する子
- 粘り強く取り組む子



箱根で、寄木細工体験をしました。また、芦ノ湖や美しい富士山を見て、感動していました。

実行委員を中心に、しおり作り、バスの中でのクイズ大会などの準備をし、協力して行事に取り組んでいました。



連合音楽（多摩市民館にて）



多摩川の
ゴミ拾いを
しました。

5年生 自ら気づき、考えて行動しよう

〈学年目標〉

- 自ら学び、表現する子
- 相手の思いに気づき、共感する子
- 見通しをもち、自ら行動する子

授業では GIGA 端末を活用し、友だちの考えを交流する時間を設けました。気になる考えについては質問をして理解を深め、たとえ上手く伝えられなくても「きっと〇〇を伝えたいんじゃないか。」などと、友だちの考えを受け止め理解しようとする姿がありました。



運動会、自然教室、150周年式典などの行事では、パワフルな5年生の個性を生かしながら取り組んできました。声をかけ合い気持ちを高めていくこと、まとまって行動するために多少の我慢が必要なこと、「見通しをもつ」とは具体的にどのような行動をすることなのかなど、みんなで一つ一つの行事を成功させるために大切なことを学びました。

6年生 共に学び合い共に成長

〈学年目標〉

- 自分の考えをもって話を聞き、友だちの考えを受け止められる子
- 自分の考えを豊かに伝え合い、学び合う子
- 友だちのことを考え、気持ちを受け止められる子
- あきらめずに最後まで頑張る子

修学旅行では、しおりや観光ガイド作り、電車内でのレクリエーションの計画などの準備を子どもたちが中心となって行うことで協力する姿が見られました。みんなが気持ちよくすごせるように、一人一人が見通しや思いやりをもって行動することができました。修学旅行を通じて、日光東照宮で先人たちの願いや知恵、星野富弘さんの作品にふれたことは、自分の生き方について考えるよい機会となりました。



行事だけではなく、日々の授業や掃除、委員会の常時活動などに意欲的に取り組み、最高学年として一年間頑張りきることができました。

〈学年目標〉

- 自分でできることを増やす
- 友達と仲良くする
- 元気な体をつくる
- あきらめずにチャレンジする



コオディネーション運動

複数の筋肉や関節を協調的に動かし、自分の体を思うように動かせるように、さまざまな運動をしました。



音読劇をしよう

昔話や自分たちで考えたオリジナルのお話を音読劇にして発表会をしました。ミニ音読劇の経験を繰り返し、少しずつ音読のやり方に慣れ、工夫を考えながら自信をもって発表することができました。

一人一人が自分のペースでできることを増やし、友達と関わってのびのび学習しました。いろいろなことにチャレンジし、たくさん自信を付けた1年間でした。



学校としての取り組み

1. 《自ら学ぶ力》 ～校内授業研究の取り組み～

子ども達の学力向上のため、教職員は日々の授業を大切にして研究・研修を積み、授業力の向上を目指しています。今年度の研究テーマは「自分の思いを自分の言葉で表現する子」として、国語科を中心に研究を深めていきました。それぞれの特性を考慮して、1年生「登場人物になりきり、自分の思いを表現する子」、2年生「自分の感じたことを大切に、自分の言葉で表現する子」、3年生「登場人物の行動や気持ちなどをとらえて想像し、自分の感想や考えを伝える子」、4年生「登場人物への思いをふくらませて読み、自分の考えを伝えあう子」5年生「登場人物に寄り添いながら、自分の考えを伝え合い広げる子」、6年生「登場人物に自分を寄り添わせて、自分の生き方を考える子」、ひまわり級「感じたことをもとに、思いを表現する子」と学年テーマを設定し、子ども達にどのような力をつけたいかを明確にして授業研究を行いました。

学習風景より



3年
登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう
「まいごのかぎ」 斉藤 倫

6年
登場人物の生き方に学ぶ
「海の命」 立松 和平



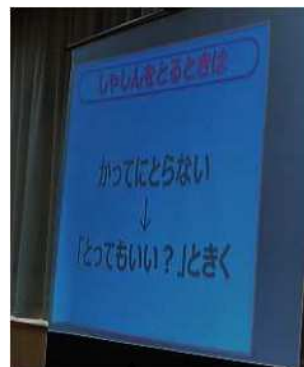
2. 《人間関係形成力》 ～情報モラル教育の取り組み～

「情報モラル」とは、情報社会の中で上手に生きていくために必要な考え方や態度のことです。かわさきGIGAスクール構想も今年度で3年目となり、本校でも授業の中で学年に応じたGIGA端末の活用を進めているところです。情報化社会の中で生きていく子どもたちに、各学年の発達段階に応じた情報モラルについての授業を、講師を招いて行っています。

学習風景より

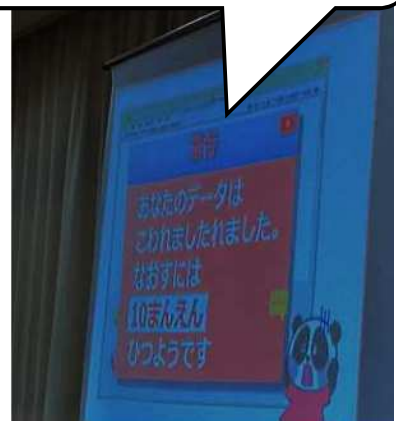


2年「インターネットの使い方」



ひとり一人に「肖像権」という権利があることを知り、写真を勝手に取らない、インターネット上にアップしないことを学びました。

また、メールやサイトにあるリンクやバナーなどを、むやみに押さない(クリックしない)ことも確認しました。

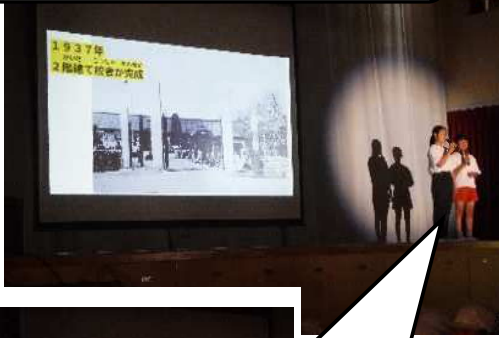


3. <自立的活動力> ～150周年行事への取り組み～

昨年度から行っていた150周年行事への取り組みですが、11月の式典当日だけのものではなく、5、6年生の行っている委員会活動や学年での活動を年間を通して取り組んできました。活動や行事を通して、たくさんの卒業生たちが学校の歴史を作ってくれたことや地域の方たちに見守られていること等を感じ、より学校への愛着をもち、よりよい学校にしていこうとする意欲をもつことができました。ここではいくつかの活動を紹介したいと思います。

活動の紹介

6月 150周年お祝いの会



運営委員会の子供たちが企画・運営をして、6月5日の開校記念日をお祝いする会を開きました。残されている資料をもとに、学校の変遷をわかりやすく紹介してくれたり、校章の紹介をしたりしました。

5月 田植え・11月 稲刈り
1月 脱穀体験



5、6年生は式典にむけて、校章のモチーフになっている稲作に取り組みました。式典後には、十分に乾かした稲を脱穀しました。高学年だけでなく、1～4年生のクラスの代表の子供たちも体験しました。

6月・11月 環境委員会 花いっぱい活動



5、6年生の委員会の児童が、1～4年生の実行委員の子供たちに植え方を教えてあげました。植えた後はクラスごとに水やりをして育てていきました。「花いっぱい学校を飾ってお祝いしたい。」という子供達の想いから実現した活動です。

11月 式典にむけての装飾



木の幹の部分为学校の中心となる高学年が自分の手形を貼って表現しました。葉の部分は1～4年生が自分の手の大きさに合わせて作成したものです。足元には登戸産の稲もついています。



1～4年生の「花いっぱい運動」で世話をした花と、5、6年生の育てた稲で、体育館までの通路を装飾しました。

令和5年度 元気ができる登戸小・学校評価(子ども・親・教師)集計結果

保護者回答数 473/家庭数 634

II 学校評価について アンケート調査による考察と課題

川崎市立登戸小学校

A…とてもよい、大変成果が上がっている B…よい、成果が上がっている

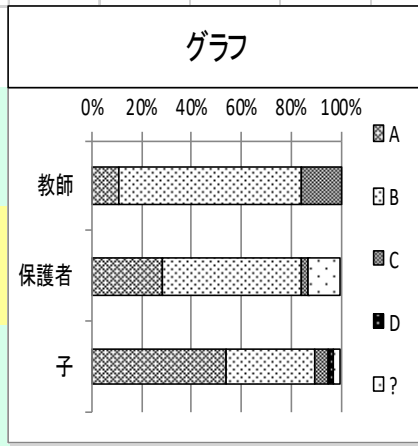
C…あまりよくない、成果がやや不十分 D…全くよくない、成果が不十分 ?…よくわからない

主体的に考える子ども … 授業の充実										
No	評価項目	対象	A	B	C	D	?	計	グラフ	考察
1	基礎・基本の充実 基礎的・基本的な技能や知識が定着するよう、分かりやすい授業と指導の工夫に努めています。	教師	13.2%	84.2%	0.0%	2.6%	0.0%	100.0%		子ども達から85%、保護者から80%以上の良い評価をいただいている。引き続き継続して取り組んでいくとともに、さらなる指導の工夫を学校全体で研修、実践していきたい。
		保護者	22.8%	62.8%	6.3%	0.2%	7.8%	100.0%		
		子ども	41.8%	46.6%	7.3%	1.1%	2.9%	100.0%		
			A	B	C	D	?			
2	主体的に学ぶ姿 聴く・話す力を育み、子どもが自ら学習に向かう意欲を高めるように努めています。	教師	13.2%	73.7%	10.5%	2.6%	0.0%	100.0%		85%以上の子ども達、保護者からよい評価をいただいているが、「成果が不十分」という評価にも着目したい。子ども達が「もっと知りたい、学びたい」という意欲を高められるよう、教材や手立てなどについて、今後も校内研究を通して教員の指導力向上に努める。
		保護者	23.9%	59.2%	10.1%	0.0%	6.8%	100.0%		
		子ども	40.1%	46.1%	11.3%	1.4%	0.7%	100.0%		
			A	B	C	D	?			
共に支え合う子ども … 心の教育の充実										
3	規範意識の向上 どの子にも楽しい学校生活にするため、基本的な生活習慣を身につけ、約束を守るよう指導しています。	教師	15.8%	81.6%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%		3者共に高評価を得ている。Aの項目については、子ども達の頑張っている姿が見られる。子ども達の頑張りをしっかり見つめていくために、学校と家庭とが連携し、今後も基本的な生活習慣を身につけられるようにしていく。
		保護者	26.4%	64.3%	4.7%	0.2%	4.4%	100.0%		
		子	50.5%	40.1%	5.9%	1.4%	1.7%	100.0%		
			A	B	C	D	?			
4	教育相談の充実 子ども達や保護者が相談しやすいような雰囲気や態勢を整え、話に耳を傾けるよう努めています。	教師	23.7%	73.7%	2.6%	0.0%	0.0%	100.0%		85%以上の保護者から「相談しやすい」という評価をいただいているが、25%の子ども達が「成果が不十分」「わからない」と回答している。教師以外に相談できる大人がいるのか、誰にも相談できていないのか不明だが、子ども達が話しやすい環境を作っていくように今後も努力をしていく。
		保護者	30.0%	58.6%	5.7%	0.0%	5.7%	100.0%		
		子	32.9%	38.9%	18.8%	6.8%	2.2%	100.0%		

No	評価項目	対象	A	B	C	D	?	計	グラフ	考察
5	道徳教育の充実 道徳や共生＊共有の学習などで、自分の言葉や行動を振り返るような指導に努めています。	教師	7.9%	81.6%	10.5%	0.0%	0.0%	100.0%		コロナ前の状態に少しずつ戻り、保護者の方には授業参観等で道徳や共生＊共有に一生懸命取り組んでいる子ども達の様子を見ていただくことができました。今後も家庭と連携しながら、子ども達がこれから生きていくための道徳性を身につけていけるように指導をしていく。
		保護者	24.3%	60.3%	5.7%	0.0%	9.7%	100.0%		
		子	41.5%	46.1%	8.3%	1.0%	2.8%	100.0%		
自分から気づいて行動する子ども・・・実践的活動の充実										
			A	B	C	D	?			
6	自立的活動の充実 学校行事や子ども達会活動、学級活動などの自主的・自立的な集団活動を通して、進んで活動したり、粘り強く取り組んだりする態度を育む指導に努めています。	教師	13.2%	73.7%	13.2%	0.0%	0.0%	100.0%		委員会活動等を自立的に進めることができ、クラスの係活動も自主的に取り組んでいる様子があることから、子ども達や保護者からはよい評価を得ている。一方で、教師の評価が昨年度より約8%下がっている。様々な活動が解禁となり、コロナ禍の制約により主体性を育成しにくかった影響を改めて感じている。低学年からの積み上げを大切にして、指導していく。
		保護者	33.6%	57.5%	3.2%	0.0%	5.7%	100.0%		
		子	54.2%	35.5%	6.7%	1.1%	2.2%	100.0%		
			A	B	C	D	?			
7	安全指導 学校のきまりや交通ルールなどを守って安全に気をつけて生活できるよう、指導に努めています。	教師	7.9%	78.9%	13.2%	0.0%	0.0%	100.0%		学校生活の約束やGIGA端末使用の約束等、毎年見直し指導しており、子ども達は90%以上のよい評価となっている。学期初めや、約束を守れていない子どもの姿が見られる際に、都度改めて指導を行い、安心して学校生活を送ることができるよう、継続して指導していく。
		保護者	30.2%	58.1%	6.8%	0.2%	4.7%	100.0%		
		子	61.3%	33.2%	2.9%	1.4%	0.8%	100.0%		
			A	B	C	D	?			
8	あいさつ活動 子ども達が進んであいさつやお礼を言うよう、指導に努めています。	教師	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	0.0%	100.0%		子ども達からは90%以上のよい評価を得ている。ふれあい委員会子ども達による朝のあいさつ運動や教師から進んであいさつをする姿を見せ指導している中で、あいさつの意識が高まっている。今後もあいさつの指導を継続し、さらに時と場に応じたあいさつや言葉遣いを身に付けられるよう指導していく。
		保護者	27.1%	57.9%	7.6%	0.2%	7.2%	100.0%		
		子	61.4%	32.2%	3.2%	1.0%	1.9%	100.0%		

地域とともに歩む教育

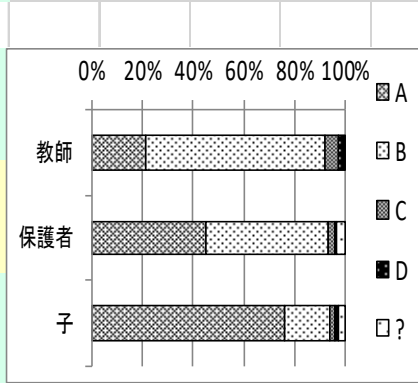
No	評価項目	対象	A	B	C	D	?	計
9	地域との連携 子ども達が興味をもって学べるよう、家庭や地域の方々と協力して指導に努めています。	教師	10.5%	73.7%	15.8%	0.0%	0.0%	100.0%
		保護者	28.5%	55.6%	2.5%	0.2%	13.1%	100.0%
		子	53.5%	36.2%	5.3%	1.6%	3.1%	100.0%



考察

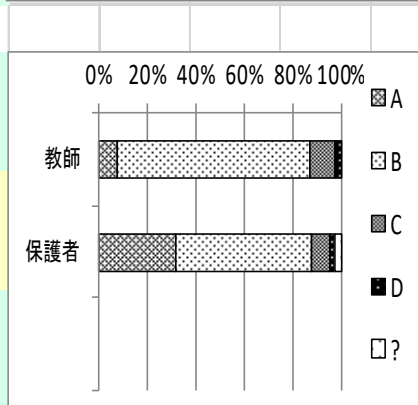
90%近く子ども達が地域や保護者の方々や学ぶことを楽しいと感じている。これからも、地域の方々や保護者の方々、外部講師との連携を図り、より子ども達が興味をもって学習していけるように努めていきたい。また、その活動を保護者の方々に知っていただくように学校ホームページを活用したり便りで伝えていたりすることも行っていきたい。

			A	B	C	D	?	
10	登下校指導 地域の方々と連携して、子ども達の登下校の安全確保に努めています。	教師	21.1%	71.1%	5.3%	2.6%	0.0%	100.0%
		保護者	44.8%	48.4%	3.0%	0.2%	3.6%	100.0%
		子	76.1%	17.6%	2.0%	1.4%	2.5%	100.0%



子ども達・保護者共に90%近くの方が「よい」と答えている。保護者の方の記述回答の中には、地域の見守り隊の方々への感謝の言葉も見られた。ただ、登下校中に道に広がって歩いている等のご意見もあったので、引き続き教職員と家庭、地域の方が連携して指導、見守りをしていく。

			A	B	C	D	?	
11	情報の伝達 学校だよりやホームページでの学校生活の情報や、配信メールでの安全に関する情報などを適切に伝えることに努めています。	教師	7.9%	78.9%	10.5%	2.6%	0.0%	100.0%
		保護者	31.7%	55.8%	8.0%	1.9%	2.5%	100.0%
			%	%	%	%	%	100.0%



80%をこえる保護者の方に「よい」と評価していただいている。しかし、記述回答では、「学年だよりもHPに載せてほしい。」等の要望も出ていた。学校・学年だよりに関してはHPへの掲載を基本としているが、更新されるのが遅くなってしまった時がある。迅速に更新ができるよう、引き続き努めていく。

Ⅲ 来年度に向けて

今年度も、新型コロナウイルス感染症への対応に追われた1年でしたが、保護者の皆様のご支援のおかげで、昨年度よりも充実した教育活動を行うことができました。厳しい状況の中でも児童の学びを保障するためには、学校・家庭・地域との連携がとても大切であるということを改めて感じました。これまで、授業・行事・校外学習等、新型コロナウイルス感染防止に関わる様々なお願いに、ご理解、ご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

今年の1月、皆様方に御協力頂いた保護者アンケートの記述欄には、本校の教育活動に対しての多くの温かい言葉、今後の課題となりうるご意見を頂きました。この場をかりて心より御礼申し上げます。皆様からのご声援を教職員一同の励みとするとともに、課題については学校として真摯に受け止め、より良い教育活動に向けて改善を図り、子どもも保護者も教職員も活気ある元気な学校にしていきたいと思っております。150周年を迎える令和5年度も地域・保護者の皆様により一層のお力添えをいただければと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



担当・編集 登戸小学校学校評価プロジェクト